

豚熱の発生予防対策に係る国(疫学調査チーム)の提言

令和3年7月7日、国の拡大豚熱疫学調査チームにより、豚熱ワクチン接種農場における発生予防対策について提言がありました。提言にある対策を特に意識して今後も飼養衛生管理の遵守徹底をお願いします。

●掲載先：<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/attach/pdf/domestic-29.pdf>

◇提言の概要

- ワクチンを適切に使用しても全ての豚が免疫を獲得できるわけではありません。
- ウイルスの侵入防止に加え、特にワクチン接種前の離乳豚舎等で一層の衛生管理の徹底が必要です。

◇具体的な発生予防対策

ウイルスを農場内に持ち込まない

- 防護柵等の設置を徹底し、野生動物の侵入を防止する
- 動力噴霧機でタイヤの溝等に残った土を落とす

ウイルスを豚舎内に持ち込まない

- 豚舎ごとの靴・着衣の交換や手指洗浄・消毒や手袋交換を徹底する
- 敷料の保管は野生動物・野鳥の接触がないようブルーシート等で覆う
- 豚舎間の豚の移動の際には消毒済みケージ等を利用する

免疫のない豚群の対応

- ワクチン接種前の離乳豚などは飼養衛生管理を一層徹底する
- ワクチン接種時期など、家畜保健衛生所の立入検査などの必要な指導をきちんと受ける

適切な消毒・統一した管理法及びリスクの認識

- 消毒薬は定期的に交換し、消毒薬の選択と使用濃度にも気をつける
- 従業員にわかりやすいマニュアルを作り、定期的に教育訓練する
- 周辺環境中にあるウイルスの侵入リスクが高いことに危機感をもって管理する

飼養豚に異状を認めたら、速やかに管轄の家畜保健衛生所に御連絡ください。

県央家畜保健衛生所	TEL:028(689)1200	携帯:090-7205-0895	(夜間・休日)
県南家畜保健衛生所	TEL:0282(27)3611	携帯:090-7205-1402	(夜間・休日)
県北家畜保健衛生所	TEL:0287(36)0314	携帯:090-7205-1826	(夜間・休日)